

はやちう通信 No. 5

1年生にとっては初めての、3年生にとっては最後の「前期中間考査」が終わりました。テスト前のご家庭での様子は、いかがでしたでしょうか？人は、その時は一生懸命やったつもりでも、後から振り返って「もっとできたのに～(泣)」とってしまうものです。

「後悔先に立たず」というように、終わった後には「後悔」がつきまといますが、ここからの道は、二つに分かれています。それは、「後悔」を次に活かせるかどうかです。何が失敗だったか、どこが悪かったかをしっかり分析して、次の「成功」に結びつけてほしいものです。(*_*)



【授業ノートの作り方！】

「授業がわかっているか」はテストでわかりますが、「授業に一生懸命取り組んでいるか」は、授業ノートを見れば一目瞭然です。中学校では、試験の度に「ノート集め」をしています。ご家庭でも試験結果を見るだけでなく、授業ノートも見てあげてください。すると、どの教科を頑張っているか、どの教科で苦労しているか、いろいろと見えてきます。



お子様の現状を把握した上、「人生の先輩」として、アドバイスをしてあげてください。

【芸術鑑賞に行ってきました！】

6月20日の朝、浅草演芸ホールまで「芸術鑑賞」に行ってきました。日本の伝統文化を学ぶために、「能」「歌舞伎」「落語」の順に3年間ですべてを鑑賞します。今回は生徒に最も人気がある「落語」です。

現地集合に教員は不安を感じていたものの、生徒たちは笑顔で集合。林家たま平さんの落語で、会場は大爆笑の渦に巻きこまれ、ジャグリングでは、拍手をし過ぎて手が痛くなるほどでした。

「ロケット団」の漫才のテンポの良さには、腹をかかえて笑っていました。そして、林家二楽さんの「紙切り」では、

一枚の紙から驚くほど精巧な図柄が切り出されていく様子にみんな目を丸くして見入っていました。最後に出演したのは「蜃気楼龍玉」師匠！会場は古典落語の世界観に引き込まれ、まるでタイムスリップしているよう。いくつもの「本物」を体感できて、生徒一人ひとりの心にさまざまな感動が刻まれる素敵な時間になりました。

終演後、上野公園まで徒歩で移動し、ランチタイムを楽しみました。午後からは、国立科学博物館での調べ学習です。館内では、事前学習で配布された理科の課題に夢中になって取り組んでいました。のんびりしていた班も、最後は「時間が足りない！」と焦りながら右往左往。

校外学習を通して得たものを、次に繋げてほしいものです。(^)/

